



令和8年9月30日

報道機関 各位

郷土の名工「竹内八十吉」の写真・遺品展と講演会を開催します

竹内八十吉（たけうち やそきち）は、江戸時代末期から明治時代にかけて活躍した上田市（旧神川村）出身の宮大工・彫刻師です。寺社建築の装飾彫刻を数多く手がけ、太郎山神社、信濃国分寺、荒神宮（諏訪形）、堀川神社（下堀）など数々の名作を残しています。

地域でまちづくりに取り組んでいる住民自治組織「上田市北部地区まちづくり協議会」と「神川まちづくり委員会」では、この郷土の名工を広く知ってもらうための活動に合同で取り組んでおり、その一環として「竹内八十吉展実行委員会」を組織し、竹内八十吉作品の写真や貴重な遺品を集めた特別展と講演会を次のとおり開催いたします。

1 写真・遺品展

（1）日時 令和8年10月9日（金）～10月12日（月）

10/9…12:00～17:00 10/10～10/11…9:00～17:00

10/12…9:00～16:00

（2）場所 サントミュージゼ 多目的ルーム



太郎山神社本殿

2 講演会

（1）日時 令和8年10月10日（土）午後2時（開場 午後1時30分）

（2）場所 サントミュージゼ 小ホール

（3）内容 基調講演（講師：龍洞院住職 村上静雪氏）・パネルディスカッション

○ 主催：竹内八十吉展実行委員会 / 後援：上田市教育委員会、信濃毎日新聞社

上田市は「SDGs 未来都市」です。



上田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

本件に関する問合せ先

上田市 市民まちづくり推進部 市民参加・協働推進課

課長 平田 （担当者 石井）

電話：0268-71-6732

竹内八十吉展実行委員会

※連絡先は市民参加・協働推進課経由でお伝えします

生誕200年記念

竹内八十吉展

記念講演会

パネルディスカッション

令和8年

日時 10月10日（土）
14:00～16:00（開場 13:30）

入場無料
定員300名

会場 サントミュージゼ 小ホール
上田市天神三丁目 15 番 15 号

基調講演：曹洞宗龍洞院 住職 村上静雪 氏
演題

「幕末～明治の宮大工・木彫名工 竹内八十吉」

パネルディスカッション

“ 竹内八十吉作品やその人となりのご紹介 ”

郷土の芸術家を知り語りつなごう！

パネラー

山邊睦夫（写真家） / 山崎雄三（北部）

小野澤秀彦（神川） / 窪田善雄（城下）

ファシリテーター 水寄歩実（進行役）

主催

竹内八十吉展実行委員会

（神川まちづくり委員会・北部地区まちづくり協議会）

後援：上田市教育委員会 / 信濃毎日新聞社・協力：アイ写真工房

お問い合わせ：電話 090-3403-2451 柳沢

竹内八十吉と酒

八十吉は酒好きで、当時の職人には良く見られる人物です。かつて、信濃国分寺の薬師堂建立に際し、本堂前面の「虹梁」や「欄間」の彫刻を手がけました。出来上がった作品が「その葉形人參に似ている」とあざ笑われて、彼はその恥ずかしさに耐えかね、修行のため江戸へ向かいます。途中、軽井沢の叔父のもとに立ち寄ると、叔父は「上田へ帰りなさい」と金一分を渡し諭しました。ところが八十吉は、そのお金を酒代に使ってしまします。その後、泊まった宿の主人が「八十吉は彫刻の腕が立つ」と聞きつけ、宿の欄間を彫らせませす。見事な出来栄えに喜んだ主人は金一分を報酬として与えますが、また酒代に使ってしましました。更に一分を借り、上州（現在の群馬県）の下仁田を経て新町で、稲荷社の建築に出会い、本殿の虹梁に見事な彫刻を施し人々を驚かします。この仕事で彫刻代を稼ぎ、借りた一分をかえします。八十吉には、このような酒にまつわる逸話が残っています。

平成25年に発行。その後絶版となっておりましたが、今回復刻版として、出版いたします。郷土の芸術家（宮大工・木彫名工）として、優れた技を持ち、芸術としてもすばらしい竹内八十吉の神社・仏閣の作品を紹介します。当日、会場でも頒布いたします。是非、この機会にお求め下さい。

限定200部

復刻版

A5版 100ページ 写真白黒

頒布価格 1980円



村上博優 著

平成25年9月1日 初版発行
グリーン美術出版

【イベント】

講演会 10月10日（土）

会場 小ホール

開場 13:30

記念講演 14:00～16:00 基調講演 / パネルディスカッション

村上静雪（龍洞院 住職）※竹内八十吉は、龍洞院の檀家です。

「幕末～明治の宮大工・木彫名工 竹内八十吉」

会場 サントミューゼ（多目的ルーム）

写真・遺品展 開催

10月9日 12:00～17:00

10月10・11日 9:00～17:00

10月12日 9:00～16:00

竹内八十吉は、1815（文化12）年、神川村上澤に生まれる。

1845（弘化2）年、31歳頃、葛飾北斎に師事。

1898（明治31）年、享年84歳、常田にて歿。

《主な作品》

信濃国分寺・堀川神社（下堀）・伊波保神社（岩下）・龍洞院

太郎山神社・山口白山比咩神社・大輪寺・金昌寺・月窓寺・良泉寺

願行寺・科野大宮社・伊勢宮・荒神宮（諏訪形）・國露津穂神社（黒坪）

諏訪神社（長和町）・薬師堂（塩川）・上田大神宮など・・・県外にも・・・



太郎山神社 虹梁



龍洞院 位牌堂 龍



大宮神社 昇り亀